



住み慣れた地域で 自分らしく生きるために

広島県・備北メディカルネットワークがめざすものとは

放送日 **2018年 1月27日(土)** 午前**11時15分**から
午前11時45分まで

広島ホームテレビ

地域医療は都市部に医師や医療資源が集中する一方で、地方には医師や医療資源が少ない「偏在」といった現象が起きています。この偏在を改善すべく広島県備北地域では地域医療連携推進法人「備北メディカルネットワーク」が国内第一号で認可され、三次市、庄原市の基幹4病院（庄原赤十字病院は最終調整段階）が法人を組織して連携し、医師の育成や、地域包括ケアの充実にに向けた取り組みなどをスタートさせました。番組では、広島県内で最も広域な医療圏を有し、無医地区の多い備北地域において地域医療連携推進法人がめざす地域医療のあるべき姿について考えます。

広島県医師会 **平松恵一** 会長 市立三次中央病院 **中西敏夫** 病院長

三次地区医療センター **安信祐治** 病院長 庄原市立西城市民病院 **郷力和明** 病院長

庄原赤十字病院 **中島浩一郎** 院長

三次市 **増田和俊** 市長 広島県健康福祉局 **菊間秀樹** 局長

庄原の小児医療を考える **ひだまりの会**

